

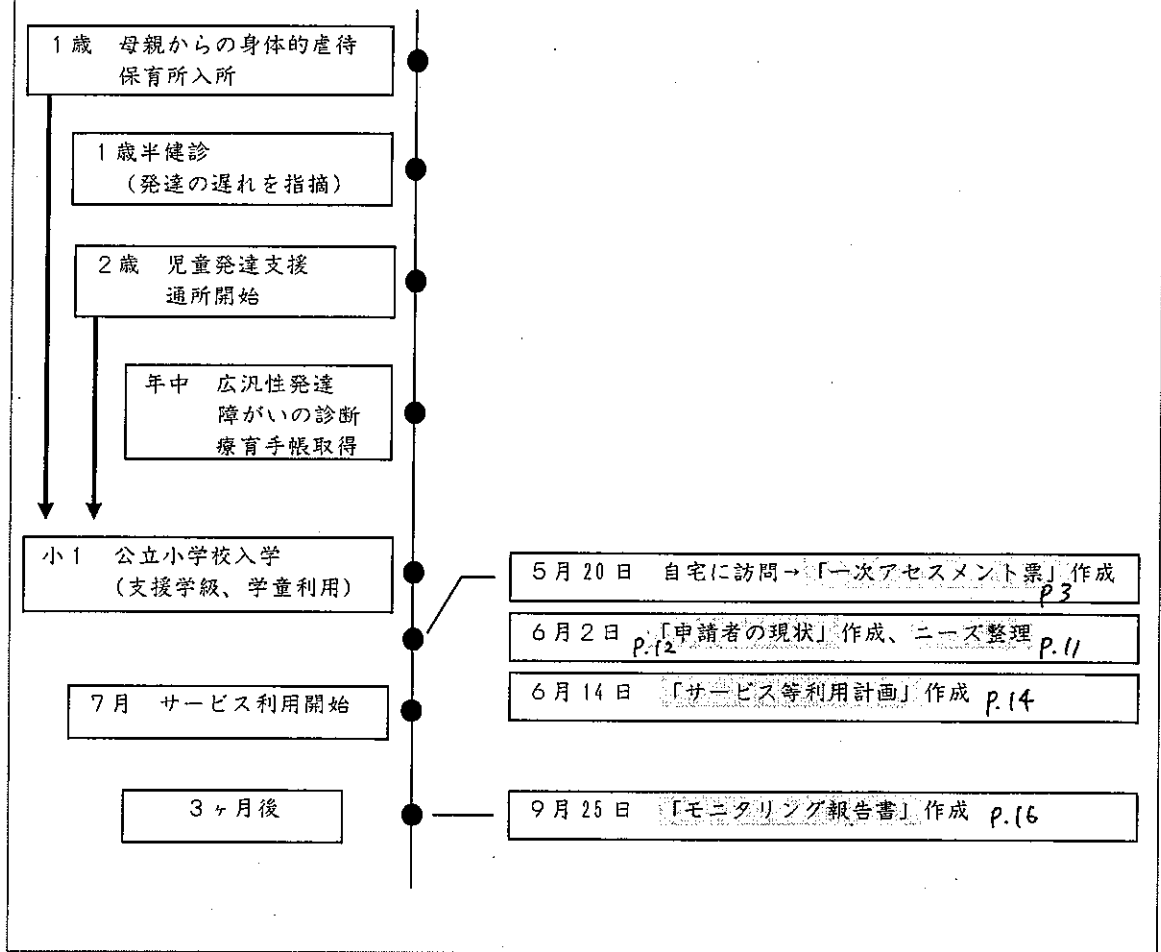
## 保護者支援が必要な事例

## ～複数の課題を抱える家族における児童の支援を考える～

## 1. 事例の概要

◆年齢	7 歳	◆性別	男
◆障がいの状況	広汎性発達障がい、知的障がい 療育手帳 B 1		
◆生活状況	◆家族状況 (ジェノグラム)		
元父親による姉への虐待、母親に対する暴力があり、その後離婚。母子家庭となる。現在は母親のパート収入と母子手当てで生活し、非課税世帯。母親は理解が難しく会話がかみ合わない面があり、家事・育児能力共に低く、ストレス状況になると本児に対して手が出ている状況。			
◆相談に至るまでの経緯 (本人の困りごと、相談につながるまでの関係機関との連携等)			
乳幼児期より母親の本児への身体的虐待があり、保健センターや家庭児童相談室が関与している。1歳児から保育所に入所。1歳半健診で発達の遅れを指摘され、2歳より児童発達支援事業所に週2回通室。就学相談を経て支援級に入学。学童を利用していたが本児が登校を渋り、学童へ行くことを嫌がるようになったことから母親から相談が入り、サービスの利用を希望されたことにより、支援が再開となった。			
◆アセスメントする上での配慮点 (確認すべき情報、コミュニケーション、安心できる環境等)			
保護者との話の中で、本児に対する乳幼児期の様子や現在に至るまでの経緯が不確かな点があり、各関連機関に情報を収集する必要がある。保護者との会話においても質問した内容と異なる返答が返ってくる事が多く、母親に分かりやすく説明するなど丁寧な配慮が重要であった。			
本児の発達に関して年長児までの児童発達支援事業所での様子や発達検査結果、保育所での様子の聞き取りを行い、発達の経緯の把握を行った。又、現在の本児のADLやコミュニケーション能力、社会性の状態も学校側から聴取することで、本児の課題とするところが鮮明に浮かび上がってきたと考えられる。本児への虐待に関する件について、家庭児童相談室との連携を行い、虐待を防ぐための見守りや母親の家事、育児の負担軽減も含めた支援内容を考えることとなった。			

◆経過と今後の相談支援専門員による支援の流れ



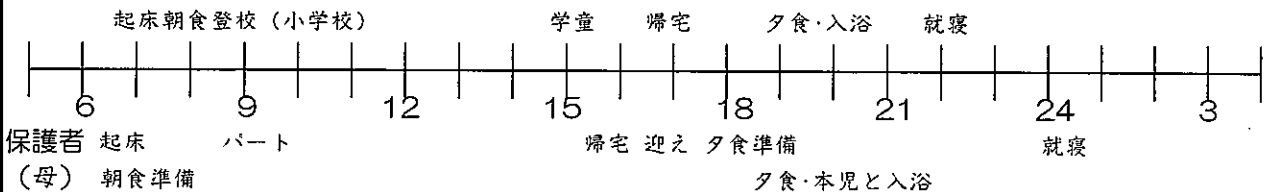
**【障がい児用】訪問票（一次アセスメント票）**

受付 No. 氏 名：〇〇 〇太 訪問年月日：平成26年 5月 20日 訪問者所属 〇〇相談支援センター 氏 名 △△ △△	訪問目的（事前に具体的に記入） サービス等利用計画作成にあたってのアセスメントを行うため
--	---

障 が い 児 本 人 の 概 要	生育・療育・教育歴	○年○月○日、2850gで出生。現在小学1年生。 出生時異常無し。光線療法2日。1歳半健診で発達の遅れを指摘され、2歳より年長児まで児童発達支援事業所へ親子で週2回通室。 母親就労、母親の本児に対する身体的虐待もあり、1歳より保育所入所。 就学に向けて就学相談を利用し、学校側と何度か話し合った結果、支援級入級。学童利用。家庭児童相談室より放課後等デイサービスの利用も勧められたが、母親の方がいくつも利用することで混乱すること、放課後等デイサービスとの違いが理解できないことより学童利用にとどまる。			
	障がい歴	年月	事 項	年月	事 項
	障がい・疾病	〇〇	広汎性発達障がい(知的障がいを伴う)		
	障がい手帳	<input type="checkbox"/> 身体障がい <input checked="" type="checkbox"/> 知的障がい <input type="checkbox"/> 精神障がい <input checked="" type="checkbox"/> 発達障がい <input type="checkbox"/> 難病 <input type="checkbox"/> その他 障がい名・診断名・疾病名（広汎性発達障がい(知的障がいを伴う)）			
	障がい程度	<input type="checkbox"/> 小児区分1 <input type="checkbox"/> 小児区分2 <input type="checkbox"/> 小児区分3 <input type="checkbox"/> 重心 <input type="checkbox"/> 区分1 <input type="checkbox"/> 区分2 <input type="checkbox"/> 区分3 <input type="checkbox"/> 区分4 <input type="checkbox"/> 区分5 <input type="checkbox"/> 区分6 <input type="checkbox"/> 医療型 <input type="checkbox"/> 療養介護型			
	医療機関利用状況	[現在の受診状況、受診科目、頻度、主治医、どの疾患での受診] 〇〇大学附属病院小児科発達外来受診 6か月毎に受診			
	医療保険	<input checked="" type="checkbox"/> 国民健康保険 <input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 生活保護			
	医療費の助成等	<input type="checkbox"/> 自立支援医療費（ <input type="checkbox"/> 育成医療 <input type="checkbox"/> 更生医療 <input type="checkbox"/> 精神通院） <input type="checkbox"/> 重度障がい者医療費助成 <input type="checkbox"/> 小児慢性特定疾患費助成 <input type="checkbox"/> 難病医療費助成			
	現在利用している福祉サービスや福祉用具	なし			

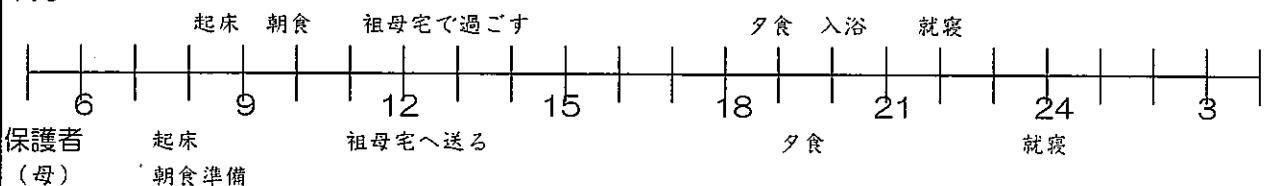
生活状況 [平日の生活1日の流れ] \*週間生活表が必要な場合は別紙に記入

本児



[休日などの生活の1日の流れ] \*いくつかの1日の生活の流れがあれば、別紙に記入

本児



■本児の生育歴

区 分		成 長 の 様 子 等
胎 生 期	母親の環境	<input checked="" type="checkbox"/> 就労 <input type="checkbox"/> 持病( ) <input type="checkbox"/> 病弱 <input type="checkbox"/> 疾病( ) <input type="checkbox"/> 服薬( ) <input type="checkbox"/> 飲酒(飲酒量 ) <input type="checkbox"/> 喫煙(喫煙量 ) <input type="checkbox"/> 転居 <input type="checkbox"/> 離婚 <input type="checkbox"/> その他( )
	妊娠の様子	つわり( <input type="checkbox"/> 重い <input checked="" type="checkbox"/> 軽い ) <input type="checkbox"/> 疾病( <input type="checkbox"/> 切迫流産 <input type="checkbox"/> 妊娠中毒 <input type="checkbox"/> その他( ) 服薬(薬名 ) 精神状態( <input type="checkbox"/> いらつき <input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> 不安 <input type="checkbox"/> その他( )
出 生 時	父母の年齢	父親 歳 母親 31 歳
	出産予定日	○年 ○月○日より <input checked="" type="checkbox"/> 早い(3日)、 <input type="checkbox"/> 遅い( 日) 在胎39週 4日
	分娩状況	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 鉗子 <input type="checkbox"/> 帝王切開 <input type="checkbox"/> 骨盤位 <input type="checkbox"/> 陣痛促進剤を使用 <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 仮死( 分) <input type="checkbox"/> 保育器( 日) 出生時体重( 2850g) 身長( 47.5cm) 頭囲( cm) 胸囲( cm) アプガースコア(1分後 /5分後 )
新 生 児 期	黄疸	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 普通( 日) <input checked="" type="checkbox"/> 強い(光線療法 2 日)
	授乳	<input type="checkbox"/> 母乳 <input type="checkbox"/> 人工栄養 <input checked="" type="checkbox"/> 混合( )
	哺乳力	<input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input checked="" type="checkbox"/> 不明
乳 幼 児 期	気になること・困ったこと	<input type="checkbox"/> ミルクの飲み方 <input checked="" type="checkbox"/> よく泣いた <input type="checkbox"/> 泣き止まない <input type="checkbox"/> おとなしい <input type="checkbox"/> 泣かない <input type="checkbox"/> 睡眠(日中、夜間 ) <input type="checkbox"/> その他( )
成 長 の 記 録	首のすわり( 5ヶ月頃) 寝返り( 7ヶ月) おすわり( 9ヶ月) ずりばい( 10ヶ月) よつばい( 11ヶ月) つかまり立ち( ) 伝い歩き( ) 独歩( 15ヶ月) 追視( ) 玩具に手を伸ばす( ) あやすと笑う( ) 人見知り( 無 ) 動作模倣( ) 指さし( ) 喃語( ) 初語( 16ヶ月) 二語文( )	
そ の 他	予防接種	<input checked="" type="checkbox"/> ポリオ <input checked="" type="checkbox"/> 百日咳 <input checked="" type="checkbox"/> ジフテリア <input checked="" type="checkbox"/> 破傷風 <input checked="" type="checkbox"/> 麻疹 <input checked="" type="checkbox"/> BCG <input type="checkbox"/> その他( )
	既往症	<input type="checkbox"/> ひきつけ・けいれん(初発 歳 月頃、発熱の有無：あり・なし) <input type="checkbox"/> 麻疹 <input type="checkbox"/> 耳下腺炎 <input type="checkbox"/> 水痘 <input type="checkbox"/> 風疹 <input type="checkbox"/> その他( )
健 康 診 査 の 経 過	1歳6ヶ月	<input type="checkbox"/> 普通 <input checked="" type="checkbox"/> 要観察 <input type="checkbox"/> 未受診 発達全体の遅れを指摘される
	3歳6ヶ月	<input type="checkbox"/> 普通 <input checked="" type="checkbox"/> 要観察 <input type="checkbox"/> 未受診 発達全体の遅れを指摘される
	歳 ヶ月	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 要観察 <input type="checkbox"/> 未受診
	歳 ヶ月	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 要観察 <input type="checkbox"/> 未受診

■本児の状況

1. 現在の様子

項目	本児・保護者に聞いたこと	対応者が気付いたこと
長所・特技	好きなことはすぐ覚える	電車の種類を良く知っている
好きなこと	プラレール ゲーム(マリオ)	帰宅後はゲームをしていることが多い
苦手なこと	勉強 文字を書くこと 集団活動	勉強に対する苦手意識が強い

2 生活習慣について

項目	援助の程度	現在の状況	
食事	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 声かけ・見守りが必要 <input type="checkbox"/> 介助なし	■箸を使って食べる      ■スプーンやフォークを使って食べる <input type="checkbox"/> 食事を摂るのに改良された食器類を使う <input type="checkbox"/> 流動食や刻み食など食べやすくするために加工する <input type="checkbox"/> 介助をしてもらって食べる <input type="checkbox"/> その他具体的に( )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		姿勢が崩れることが多い お箸がうまく使えない	姿勢保持が難しい。手先の不器用さがあり、お箸をうまく操作しにくい様子
飲水	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 声かけ・見守りが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 介助なし	現在の状況 ■コップを使って飲む <input type="checkbox"/> ストローを使って飲む <input type="checkbox"/> 適切な飲水をしな( <input type="checkbox"/> 過剰な飲水 <input type="checkbox"/> 飲水をしな( ) <input type="checkbox"/> その他具体的に( )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
排泄	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 声かけ・見守りが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 介助なし	現在の状況 <input type="checkbox"/> 尿意や便意を伝える      ■ズボンやパンツの脱ぎ着をする <input type="checkbox"/> 衣服を汚さずに用を足す <input type="checkbox"/> 後始末をする <input type="checkbox"/> 手洗いをする <input type="checkbox"/> 生理の処理をする <input type="checkbox"/> おむつをしている      ■夜尿がある <input type="checkbox"/> 男女のトイレの区別をする <input type="checkbox"/> その他具体的に( )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		時々夜尿がある	昼間はほぼ自律。

項目	援助の程度	現在の状況	
着脱	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 声かけ・見守りが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 介助なし	<b>■ズボンやパンツ、スカートの脱ぎ着をする</b> <b>■シャツや上着の脱ぎ着をする</b> <input type="checkbox"/> 前後・裏表の区別がつく <input type="checkbox"/> 靴下をはく <input type="checkbox"/> 左右を間違えずに靴を履く <input type="checkbox"/> ボタンの付け外しをする <input type="checkbox"/> ベルトをつける <input type="checkbox"/> その他具体的に (    )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		ボタンの付けはずしやファスナーに時間がかかる	ボタンなど時間はかかるが自分で取り組んでいる
入浴	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 声かけ・見守りが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 介助なし	<b>■体を洗う</b> <b>■頭を洗う</b> <input type="checkbox"/> シャンプーやリンス、石鹸等を使い分ける <input type="checkbox"/> 体をタオルでふく <input type="checkbox"/> 脱いだ服の後始末をする <input type="checkbox"/> その他具体的に (    )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
整容	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 声かけ・見守りが必要 <input type="checkbox"/> 介助なし	<b>■手を洗う</b> <b>■顔を洗う</b> <b>■歯磨きをする</b> <input type="checkbox"/> 髪を整える <input type="checkbox"/> 爪がのびたら切る <input type="checkbox"/> 身だしなみを整える <input type="checkbox"/> 気温に合わせて服を選ぶ <input type="checkbox"/> その他具体的に (    )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		歯磨きを嫌がる	声掛けをすることでできることが多い。
移動	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 声かけ・見守りが必要 <input type="checkbox"/> 介助なし	<b>現在の状況</b> <input type="checkbox"/> 義肢・装具を使って移動する <input type="checkbox"/> 車いすを使って移動する <input type="checkbox"/> 杖を使って移動する <input type="checkbox"/> 歩道や横断歩道を安全に歩行する <input type="checkbox"/> バスや電車など公共交通機関を利用して移動する <input type="checkbox"/> その他具体的に (    )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		道路への飛び出しが時々ある 買い物中迷子になったことが数回ある	危険予知が十分でない面がある
睡眠	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 声かけ・見守りが必要 <input checked="" type="checkbox"/> 介助なし	<b>現在の状況</b> <input type="checkbox"/> おおよその就寝・起床時間 ( 22時 ~ 7時 ) <input type="checkbox"/> 昼寝をする (    時 ~    時 ) <input checked="" type="checkbox"/> 一人で寝る <input type="checkbox"/> 添い寝して寝る <input type="checkbox"/> 夜中に起きることがある <input type="checkbox"/> 服薬して寝ている <input type="checkbox"/> その他具体的に (    )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること

### 3 コミュニケーション・対人関係等について

項目	支援の必要性	現在の状況	
意思表示 ・ 意思伝達	<input type="checkbox"/> 必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 一部必要 <input type="checkbox"/> 必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> ことばで <input type="checkbox"/> 単語で <input type="checkbox"/> 身振り・手振りで <input type="checkbox"/> 指さして <input type="checkbox"/> 視線で <input type="checkbox"/> 表情で <input type="checkbox"/> 手話で <input type="checkbox"/> 点字で <input type="checkbox"/> 手書きで <input type="checkbox"/> 文字盤で <input type="checkbox"/> 意思伝達装置で <input type="checkbox"/> 絵カードで <input type="checkbox"/> トーキングエイドで <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		<b>【要求するときの特徴】</b> 家では強く主張する。繰り返し要求する。学校ではあまり言えない。	
		<b>【拒否するときの特徴】</b> 家では泣いて怒る。学校では嫌なときは動かなくなる	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		詳しく説明できない	ことばで詳しく説明することは難しい。簡単な会話は可能。
理解	<input type="checkbox"/> 必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 一部必要 <input type="checkbox"/> 必要なし	<b>現在の状況</b> <input type="checkbox"/> 話し言葉はほとんど理解できない <input checked="" type="checkbox"/> 日常的な単語が理解できる <input type="checkbox"/> 質問に答えられる <input type="checkbox"/> 会話に回答できる <input type="checkbox"/> 身振り（指さし、首を振るなど） <input type="checkbox"/> 具体物 <input type="checkbox"/> 絵・写真（渡す、指さすなど） <input type="checkbox"/> 文字（ひらがな、かたかな、漢字） <input type="checkbox"/> その他理解の程度を具体的に ( )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		分かっていないことがある	文章になると理解が難しい
遊び	<input type="checkbox"/> 必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 一部必要 <input type="checkbox"/> 必要なし	<b>現在の状況</b> <input type="checkbox"/> 集団で遊ぶのを好む <input checked="" type="checkbox"/> 一人で遊ぶのを好む <input type="checkbox"/> 大人と遊ぶのを好む <input type="checkbox"/> 遊びの持続性がある <input type="checkbox"/> 飽きやすい <input type="checkbox"/> その他 ( ) <b>【好きな遊び、興味・関心のあること】</b> プラレール、ゲーム（マリオ）	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		お友だちと遊べない ルールがわからない	集団での遊びが苦手。 遊びのルールが理解できない
対人関係	<input checked="" type="checkbox"/> 必要あり <input type="checkbox"/> 一部必要 <input type="checkbox"/> 必要なし	<b>現在の状況</b> <input checked="" type="checkbox"/> 人に馴染むのに時間がかかる <input checked="" type="checkbox"/> 集団での行動が苦手 <input checked="" type="checkbox"/> 一人であることが多い <input type="checkbox"/> 人付き合い、友達作りが苦手 <input type="checkbox"/> その他具体的に ( )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		大勢がいや 人数が少ない方がよい	大勢の人と関わるのが苦手 集団行動から外れやすい
感覚	<input type="checkbox"/> 必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 一部必要 <input type="checkbox"/> 必要なし	<b>現在の状況</b> <input type="checkbox"/> 特定の味や食感が受け付けられない <input checked="" type="checkbox"/> 食べるものに偏りがある <input checked="" type="checkbox"/> 大きな音（声）や特定の音を嫌う <input type="checkbox"/> デパートなどごみが苦手 <input type="checkbox"/> 視覚情報に気をとられやすい <input type="checkbox"/> 触られることを嫌う <input type="checkbox"/> 臭いが気になって集中できない <input type="checkbox"/> 暑さ、寒さに過敏 <input type="checkbox"/> クルクル回ったり、揺れたりする遊びが好き <input type="checkbox"/> その他具体的に ( )	
		本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
		学校の放送にびっくりする 先生の怒る声が怖いと言っている	感覚の面でやや過敏さあり





## 6 家族支援について

項目	家族の生活状況	
経済・介護力・相談先等	<input type="checkbox"/> 生計中心者 <u>〇〇 〇子</u> <input type="checkbox"/> 続柄 <u>母</u> <input type="checkbox"/> 生計中心者の就労形態 <u>パート</u> <input type="checkbox"/> 経済状況 <u>世帯の年間収入 約 万円</u> <input type="checkbox"/> 主な介護者 _____ <input type="checkbox"/> 介護協力者 _____ <input type="checkbox"/> 本児のことに関する主な相談相手または相談機関 <u>祖母</u> <input type="checkbox"/> その他（母子手当とパート収入で生活。 _____ )	
	本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること
	経済的に苦しい。家も狭い	
<b>【家族関係】</b> 母子家庭 母、姉、本人の3人で生活		
<p>母(38歳)</p> <p>姉(12歳)</p> <p>本人(7歳)</p>		

## 7 健康管理について

項目	現在の状況		
健康状態	概ね良好		
	本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること	
医療的ケア	<input type="checkbox"/> 医療的ケア対応者 _____ <input type="checkbox"/> 服薬管理 <input type="checkbox"/> 鼻腔・口腔吸引 <input type="checkbox"/> 気管内吸引 <input type="checkbox"/> 気管切開部処理 <input type="checkbox"/> ネブライザー（吸入） <input type="checkbox"/> 経管栄養（経鼻栄養・胃ろう栄養等） <input type="checkbox"/> 導尿 <input type="checkbox"/> 浣腸 <input type="checkbox"/> 褥瘡予防 <input type="checkbox"/> スキンケア <input type="checkbox"/> その他医療的ケアの頻度等具体的に（ _____ )		
	<input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> 一部介助 <input checked="" type="checkbox"/> 介助なし	本児・家族の困っていることや希望	対応者が気付いたこと、気になること

【本児の要望・希望する暮らし】

学校が楽しくない。学校や学童は嫌なところ。勉強は嫌い  
 学校で楽しいことが増えてほしい。学校に楽しく行きたい。①

【家族の要望・希望する暮らし】

- ・ことばが増えてほしい②
- ・文字が書けるようになってほしい③
- ・学校や学童に嫌がらずに行ってほしい④
- ・かんしゃくが減ってほしい④
- ・子どもに対して叩かないですむ方法、うまく関わる方法を教えてほしい⑤

【関係職種の情報】

【家屋の見取り図】 □持ち家 ■その他  
 トイレ、浴室位置や形状、玄関、道路までの  
 アクセスや段差等の記入

(学校)

クラスに入れない。支援級で過ごすことが多くなっている。学校では大人しいが、嫌なことは固まって動かなくなる。

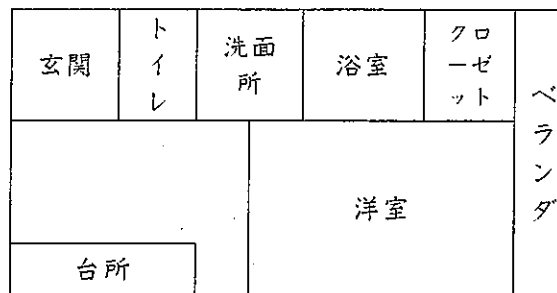
(学童)

大勢がいるところはいやなのか、スタッフルームに来ることが多い。職員とは話をするがお友達にはまだ慣れていないのかあまり話さない。

(家庭児童相談室)

今は母親からの暴力は落ち着いている。母のストレスがたまると手が出ていた。月1回の面接を行っている。本児への対応にどうしてよいかわからないことがあるときにイライラするとのこと。

アパートの2階



【対応者総合所見 (注意すべき点, 気になる点を含む)】

本児 広汎性発達障がい 発達の遅れ有り 集団行動苦手など社会性の弱さ有り  
 書字苦手 手先不器用

学校(学童)への登校しぶり有り。学校でクラスには入れていない状況。本人自身学校で楽しく過ごせている実感が無い様子。母親の教員に対する不信感もあり、学校と家庭の連携がうまく取れていない。①本児の発達の支援と学校での支援が必要。また、ことばでのコミュニケーションや書字についても支援が必要である。

③

家庭環境

母親による虐待が乳幼児期に見られ、今のところ落ち着いている様子。母親の本児に対するストレス状況が続くと手が出ていることから、本児の行動の改善や精神的安定を図りながら、母親の負担を減らすことが重要。母方祖母は協力的。週末姉と2人で泊まりに行くなどの援助あり。母の祖母への不満も聞かれることから、祖母の援助を増やすことは望ましくないと思われる。又④母親自身、本児の障がい特性に合わせた対応についても少しずつ学ぶ機会を作る必要もある。家事は上手に手際よくすることは難しいが、家事はあまりストレスにはなっていない様子。

## ニーズ整理のポイント

### 〈児と者のニーズ整理における違い〉

- ① 児童の場合、保護者のニーズが中心となることが多い。乳幼児やことばをもたない児など本人から聞き出すことが難しい場合と、ことばはもっていても今後や将来のことを見通したニーズを求めることは難しい。保護者にとってのニーズと児童本人にとってのニーズであることのすり合わせができ、本人が生き活きと主体的に生活できるような計画作成が望ましいと思われる。
- ② 児童の年齢が低いほど、「ことばが増えてほしい」「○○ができるようになってほしい」など個別支援計画と重なるようなニーズが出てきやすい。そのような能力の獲得によって望まれる今後の生活についても話題にすることが必要である。
- ③ 障がいの受容の程度によるところも大きいですが、児童の実際の姿とかけ離れたニーズも聞かれることがある。面接の中で、実際の児童の状態を確認していきながら、保護者と優先順位をつけつつ、今の児童の状態に必要な支援は何かを一緒に考えて行くことが望ましい。
- ④ 保護者の状態によって、面接内容について保護者が理解できているか、内容を具体的にわかりやすく提示することが必要である。また、保護者の育児能力や生活環境を見て家族支援がどの程度必要かを視野に入れて面接を行う。場合によっては家計や住居についてのニーズが出てくることもあり、家族支援の一つではあるが、児童自身のニーズと分けて考えることが計画の目標を決める際必要となる。

### 〈本ケースにおけるニーズ整理についての配慮点〉

面接の中で、保護者の理解が難しく、質問とはちがった内容の返答が返ってくるが多く、本児の成長の経過についても記憶が不確かなところがある等が目立った。わからないことについて警戒が強いため、できるだけわかりやすく簡潔に図など視覚的な補助手段を使いながら説明することを行った。ニーズについては、今住んでいる住居の狭さや新しい住居に引っ越したいなどの希望や、家計の苦しさ、生活保護を受けた方がよいか等の相談も含まれ、本児自身のニーズに焦点を向けることが意図的に必要であった。本児の発達の遅れなど気になるところはとらえておられ、どのような支援があれば本人の生活のしやすさにつながるかを面接の中で確認する作業を行うことができた。また、母親自身から「自分が怒らないように、この子を叩かないですむ方法があれば教えてほしい」ということばが聞かれ、母親自身の育児や関わり方の改善がニーズとして上がった。その意欲をサポートすることが虐待防止につながると考えられ、計画の中に織り込む形となった。

今回、本児との話の中で「学校や学童に行きたくない。嫌なところ」と言う訴えがあり、本児のことばで「学校や学童に楽しく行けるようになりたい」と言うニーズが聞かれた。計画作成において児童から出てくる切実な訴えに対してきちんと耳を傾け、保護者のニーズと合わせて必要な支援が適切に入るよう心がけた。

## 申請者の現状(基本情報)

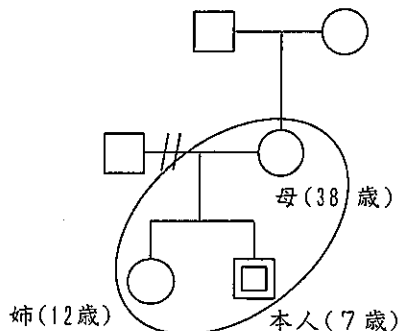
作成日	平成26年6月2日	相談支援事業者名	〇〇相談支援センター	計画作成担当者	△△ △△
1. 概要(支援経過・現状と課題等)					
<p>乳幼児期より母親の本児へ身体的虐待が数回確認され、保健センターや家庭児童相談室が定期的に訪問や面接を行うなど関与している。本児が年中時、父親の姉への虐待、母親への暴力があり、その後離婚。姉は虐待発覚後、児童養護施設に入所したが最近になって家に戻り、現在は母子家庭で母、姉、本児の3人で生活。母方祖父母が市内に住んでいて、土日は実家へ姉と本児二人で泊まるなど援助は受けているものの、母の祖母に対する不満も時折聞かれている。</p> <p>本児は1歳から保育所に入所。1歳半健診で発達の遅れを指摘され、2歳より児童発達支援事業所に週2回通室。就学相談を経て地域の小学校支援級に入学、学童保育を利用。入学に際して、家庭児童相談室より放課後等デイサービスなど療育の利用を勧められたが、母がいくつも同時に利用することで混乱することや学童との違いについて理解できず、学童の利用にとどまる。</p> <p>本児の発達としては広汎性発達障がい(知的障がいを含む)と診断され、療育手帳B1取得。ことばのコミュニケーションの遅れが大きく、手先の不器用さや書字が難しいこと、学校生活でクラスに入れない等の状況が続いている。支援級や学童の教員と母親の間もコミュニケーションが十分でない面があり、母親は教員に対する不信感を持っている。最近になって、本児が学校や学童に行くことを嫌がるようになり、帰宅後かんしゃくが激しいことから、母より相談の電話が入る。面接する中で、放課後等デイサービスなどサービスの利用を希望され、計画作成となる。</p> <p>母親は理解が難しい面や家事・育児能力の低さもあり、本児のかんしゃくや指示に従わないなどの行為に対してストレスがたまること、本児に手が出ている。母親の負担軽減も含めたサービス利用等の支援が必要と考えられる。</p>					

## 2. 利用者の状況

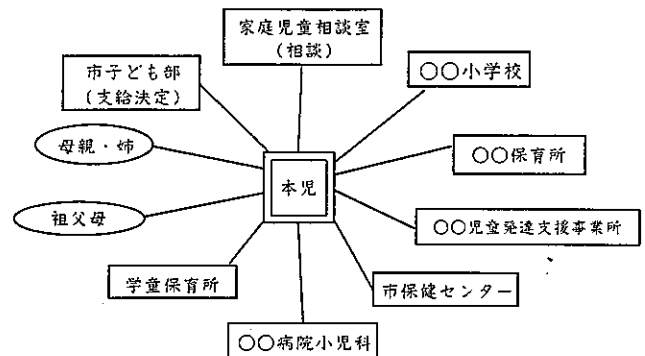
氏名	〇〇 〇太	生年月日	〇年〇月〇日	年齢	7歳(小学1年生)
住所	〇市			電話番号	090-****-****(母)
	[持家・借家・グループ/ケアホーム・入所施設・医療機関・その他( )]			FAX番号	
障害または疾患名	広汎性発達障がい・知的障がい(療育手帳B1)	障害程度区分		性別	(男)・女

## 家族構成 ※年齢、職業、主たる介護者等を記入

・母と子ども2人の母子世帯



## 社会関係図 ※本人と関わりを持つ機関・人物等(役割)



## 生活歴 ※受診歴等含む

体重2850gで出生。出生時異常無し。乳幼児期より母親からの身体的虐待があり、保健センターや家庭児童相談室が関与、母親への指導が入る。1歳より保育所入所。1歳半健診で発達の遅れを指摘され2歳より児童発達支援事業所に週2回通室(グループ・個別)。年中児に広汎性発達障がい(知的障がいを伴う)の診断有り。療育手帳B1取得。公立小学校支援級に入学。学童保育を月～金曜日利用。最近、家でのかんしゃくがひどくなり、学校や学童への行き渋りが目立ってきている。

## 医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等

〇〇大学附属病院 6か月毎に受診

## 本人の主訴(意向・希望)

学校や学童が楽しくない。楽しく通いたい。

## 家族の主訴(意向・希望)

もっとことばで話ができるようになってほしい  
文字が書けるようになってほしい  
かんしゃくが減ってほしい  
学校や学童に楽しく行ってほしい  
子どもに上手に関わる方法を知りたい

## 3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援(障害福祉サービス、介護保険等)	学童保育	〇〇学童保育所	預かり	月～金曜日	
その他の支援	親族による支援	母方祖母	預かり	週末	

申請者の現状(基本情報)【現在の生活】

利用者氏名	障害程度区分		相談支援事業者名		日・祝	主な日常生活上の活動
	〇〇	〇太	〇〇	△△		
	月	火	水	木	金	土
6:00						
8:00	起床・朝食・準備	起床・朝食・準備	起床・朝食・準備	起床・朝食・準備	起床・朝食・準備	起床・朝食
10:00						
12:00	公立〇〇小学校	公立〇〇小学校	公立〇〇小学校	公立〇〇小学校	公立〇〇小学校	祖母宅
14:00						
16:00	〇〇学童保育所	〇〇学童保育所	〇〇学童保育所	〇〇学童保育所	〇〇学童保育所	
18:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	
20:00	夕食・入浴 テレビ、ビデオ、ゲーム等	夕食・入浴 テレビ、ビデオ、ゲーム等	夕食・入浴 テレビ、ビデオ、ゲーム等	夕食・入浴 テレビ、ビデオ、ゲーム等	夕食・入浴 テレビ、ビデオ、ゲーム等	祖母宅 入浴 テレビ、ビデオ、ゲーム等
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
0:00						
2:00						
4:00						

サービス等利用計画・障がい児支援利用計画(例)

利用者氏名	〇〇 〇太	障害程度区分		相談支援事業者名	〇〇相談支援センター			
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額	0円	計画作成担当者	△△ △△			
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号	123456789					
計画作成日	平成26年0月14日	モニタリング期間(開始年月)	3か月(平成26年9月)	利用者同意署名欄	〇〇 〇子			
希望する生活	利用者: 学校や学童に楽しく通いたい① 家族: ことばで話したり会話をすることが増えること②、楽しく学校に通って勉強したりお友だちと遊んでほしい①							
総合的な援助の方針	〇太くんの成長をふまえながら、ことばでのコミュニケーションを広げ、学習・生活面でできることを少しずつ増やしていく中で、楽しく学校生活を送れるようにします①②③④							
長期目標	〇太くんに合った環境の中で分かれることが増え、自信を持って意欲的に活動できることやことばでのコミュニケーション意欲が高まり、主体的に活動できることが増える							
短期目標	事業所など新しい環境に慣れ、楽しく通いながら、人との関わりの中で、ことばでのコミュニケーション意欲が高まり、主体的に活動できることが増える							
優先順位	本人のニーズ	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名 (担当者名・電話番号)	本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	もっとことばで話せるようになってほしい(母)②	支援を受ける中で、要求や気持ちを支え伝えることが増える①③	1年(平成27年6月)	放課後等デイサービス(10日/月)	〇〇放課後等デイサービス事業所(TEL:####-####-####)	事業所に通うことに慣れ、スタンプやお友だちと楽しく過ごす	3か月	
2	かんしゃくが減ってほしい(母)④	支援を受ける中で気持ちの安定を図り、コントロールできるようにする①	1年(平成27年6月)	本人自身分らない事柄が多く、嫌な気持ちや行動で表れている事が多い。ことばでのコミュニケーションの広がりを目標の中心とし、楽しく過ごすことにも繋がるものと考えた。	〇〇児童発達支援センター(TEL:####-####-####)	新たな支援を導入後、本人や家族の思いの変化や環境調整(学校など)の進み具合の状況を把握していく。		
3	学校や学童に楽しく通いたい①	支援を受ける中で、集団生活での生活に慣れ、楽しく過ごす時間が増える②	6ヶ月(平成26年12月)	保育所等訪問支援(2日/月)	〇〇児童発達支援センター(TEL:####-####-####)	小学校に元気に通う	3か月	
4	文字が書けるようになってほしい(母)③	専門的な支援を受ける中で、文字が書けるようになって、ためのスキルを少しずつ身につける③	1年(平成27年6月)	言語聴覚士による言語訓練(2回/月)	〇〇教育センター(TEL:####-####-####)	教育センターへ母親と決められた時間に通い必要な訓練を受ける	3か月	母が仕事や都合が悪い時など祖母が送迎
5	子どもへの関わり方を教えてほしい(母)⑤	専門的なスタッフに相談しながら、対応について学ぶ④	1年(平成27年6月)	保護者面談(2回/月)	〇〇教育センター(TEL:####-####-####)	仕事の調整を図り、決まった日時に親子で通う	3か月	
6		面接の中で、母親自身から育児や関わり方の改善がニーズとしてあがり、その意欲をサポートすることで虐待防止につながると思われるため計画に位置付けた。このように、保護者自身のニーズに対応した支援目標も取り入れることも重要。						

サービス等利用計画・障がい児支援利用計画【週間計画表】

利用者氏名	〇〇 〇 〇	障害程度区分	相談支援センター
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額	〇円
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号	123456789
計画開始年月	平成26年7月		

月	火	水	木	金	土	日・祝
6:00						
8:00	起床・朝食・準備	起床・朝食・準備	起床・朝食・準備	起床・朝食・準備	起床・朝食	
10:00						
12:00	公立〇〇小学校	公立〇〇小学校	公立〇〇小学校	公立〇〇小学校		祖母宅
14:00						
16:00	学童保育所	学童保育所	学童保育所	学童保育所		
18:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅		
20:00	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴	夕食・入浴		
22:00	テレビ、ビデオ、ゲーム等	テレビ、ビデオ、ゲーム等	テレビ、ビデオ、ゲーム等	テレビ、ビデオ、ゲーム等		
0:00						
2:00						
4:00						

放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、教育センターの利用により、専門的な療育を受け、必要に応じたに開わりが行われることで、ことばのコミュニケーションの広がりがりや金体の発達期待され、保護者の負担感の軽減と共に、楽しく学校生活を送れるようになる。又、保護者の定期的な面談により、〇夫に合った子育てや開わり方を相談できる。⑤

①

②③④

モニタリング報告書(継続サービス利用支援・継続障がい児支援利用援助)

利用者氏名	〇〇 〇太	障害程度区分	相談支援事業者名	〇〇相談支援センター
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額	計画作成担当者	△△ △△
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号		
計画作成日	平成26年6月14日	モニタリング実施日	利用者同意署名欄	〇〇 〇子

総合的な援助の方針  
 〇太くんは成長をふまえて、ことばでのコミュニケーションを広げ、学習・生活面でできること、場所として通うことができる様子。又、小学校への保育所等訪問支援が開始したことと、〇太くんを少しづつ増やしていく中で、楽しく学校生活が送れるようになり、**支援が入ったことによる本児や保護者の気持ちや関係性の変化も丁寧に聞き取り、状況を把握する。**

優先順位	支援目標	達成時期	サービス提供状況(事業者からの聞き取り)	本人の感想・満足度	支援目標の達成度(二一サイズの充足度)	今後の課題・解決方法(残された課題、新たな課題)	計画変更の必要性			その他留意事項
							サービスの種類の変更	サービスの量の変更	通所計画の変更	
1	支援を受ける中で、要求や気持ちを伝えることが増える	1年(平成27年6月)	最初は緊張していたが少しずつ慣れてきて笑顔も見られ、スタッフに簡単な要求など言えるようになってきている。	自分から話してくることが少し増えた気がする。	少しづつことばで伝えることが増えている。	新しい支援の環境に慣れ、コミュニケーション意欲も高まっている様子。今後高まると見られる。〇太くんは利用日数を増やすことも検討。	有(無)	有(無)	有(無)	
2	支援を受ける中で、気持ちの安定を促し、コントロールできるようにする	1年(平成27年6月)	放デイであまりしゃべることがない。声が小さく、おとなしい方。	落ち着くことはあるが、少し減ったように思う。	外ではあまりしゃべることがない。家で少し減っている様子がある。	事業所での支援の中で気持ちを落ち着かせるようになること、家でしゃべることが減らなくなる。今後現状の支援を継続。	有(無)	有(無)	有(無)	
3	支援を受ける中で、集団生活での生活に慣れ、楽しく過ごす時間が増える	6ヶ月(平成26年12月)	小学校では話すことも少なく、教室に入れないことも多く見られるが、発話も少し聞かれ、楽しく見られる。	(スタッフと)フランクだった(〇太くん)が、学校や学童に行くことが減り、少し嫌がるようになった。以前は毎朝嫌がっていたが今は嫌がらなくなっている。(母)	学校の支援が入ったことで周囲の理解が少し得られたこと、拒否感が減ってきた様子。	〇太くんは含んだ支援の中で、学校で安心して過ごせる時間を増やしたいと思える。経験を増やすことが必要。今後現状の支援を継続。	有(無)	有(無)	有(無)	
4	専門的な支援を受ける中で、文字が書けるようになるため、対応に少しづつ身をつける	1年(平成27年6月)	着席して取り組むことはできていない。課題に対して途中であきらめてしまっている。	訓練へ嫌がらずに行っている。言語の先生から出された宿題も言える。字を書けるようになった。	定期的な訓練が始まり、嫌がらずに通えることになっている。	専門的な支援が始まり、〇太くんは訓練の取り組みが概ね良好。意欲もみられること、引き続き言語訓練での支援を継続。	有(無)	有(無)	有(無)	
5	専門的なスタッフに相談しながら、対応について学ぶ	1年(平成27年6月)	生活の中で〇太くんの困っている行動やわがままな行動が少しづつ減り、保護者の取り組みに具体的な対応について話も聞いている。	困っていることや心配な点について話を聞いてもらっている。家でできることも教えてもらっている。	定期的な保護者面談を行うこと、保護者も気持ちよく付き合っている様子。引き続き相談できる場の確保が必要。現状の支援を継続。		有(無)	有(無)	有(無)	
6										支援導入後本人や家族全体で過ごしやすくなっているか、必要に応じて保護者の負担軽減や本人の余暇も含めた支援拡大を検討する。



### 3. 総評

#### (1) 計画及び支援内容の振り返り

本児の発達の課題や虐待、保護者の養育能力や家族の基盤の弱さなど複数の課題を抱えるにもかかわらず具体的な支援が途切れていたケースである。支援につながるよう保護者のペースに合わせながら、保護者の受け入れることのできる範囲内でサービスの利用を組み立てていくこととなった。低所得世帯ということもあり、相談の中で家計や住宅のことまで話題に出てくる中で、本児の発達や学校生活に焦点を向けていくことに心がけ、今後の本児の生活の見通しやそれに向けて今何が必要かを保護者に合わせて考えていくことが必要であった。保護者もわからないまま何かをされることに不信感を持っており、信頼できる相手になる関係作りや保護者の大変さや気持ちを理解する姿勢で傾聴することに重点を置いた面接を行った。

本児の発達を重視した障がい児支援利用計画を作成し、サービス導入後、様子を見ながら短期入所など保護者の負担軽減につながる支援の強化を図ることも念頭にあった。サービスの導入により本児も学校と家みの生活から、新しく通う場所が増え、自分にとって侵害される場所ではないこと、安心できる場所であることを理解し、楽しく通うことができつつあるようである。本児にとって楽しいことが増え、1週間の見通しや期待を持って生活できるようになり、気持ちの安定にもつながってきていると考えられる。学校や学童への行き渋りはやや減少した。保護者も本児のかんしゃくが減り、本児に対する対応で混乱することがやや減ったことが語られた。放課後等デイサービス利用のときは夕食を食べてくることにより、家事の軽減にもなっているようで、気持ち的に少し楽になった様子である。全体的に生活の流れが変わり良い方向に動いていることが伺える。今後も母親の状態を見ながら、必要に応じて短期入所、祖母の負担を減らすことや余暇支援も含め日中一時支援の導入も検討していく予定である。

#### (2) 社会資源の活用方法

虐待や学校への行き渋りがあることから、家庭児童相談室や学校との連携が必要であった。家庭児童相談室では保護者面接を定期的に行っていることから、連携を取ることで保護者の像がより鮮明になり、その時々状態が見えてくることに利点大きい。学校との連携により、保護者から聞く情報が学校側の情報とどの点が異なるかを見極めることが可能となり、食い違いはどこにあるのかわかることで修正を図っていきやすいと思われる。今回の計画で保育所等訪問支援を導入したが、その両者の関係改善も一つの目的としている。学校側の本児の支援のあり方や方向性についても確認しながら、必要な支援を示すきっかけになることを期待している。又、言語訓練の導入により、言語聴覚士によるより専門的な視点を学校にも伝えていくことで、本児に合った支援が広がり、本児にとって理解できる環境を増やすことが生活しやすさに結びつくと思われる。

